

ハイスライドドア 施工手順書

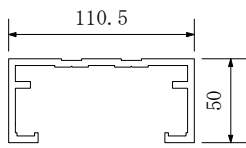
目次

・ハイスライドドア パーツ部材詳細	1
・手順1. 硝子の寸法設定と硝子引戸のパーツのセッティング	2
・手順2. ケース加工参考図 及び その他 F I X 硝子の設定から取り付け	3
・手順3. 隣接 F I X 硝子 及び 硝子引戸のケース内へ挿入	3
・手順4. 上レール部の取り付け	4
・手順5. カバー材へのモヘア材の貼り付け	5
・手順6. カバー部、マグネ受けの取り付け	5
・手順7. 補強ブラケットの取り付け	6
・手順8. 下部ガイドアルミアングルの取り付け	6
・手順9. 硝子引戸のケースへの取り付け	7
・手順10. 隣接 F I X 硝子ブラケット 先付けの取り付け	7
・手順11. 隣接 F I X 硝子のケースへの取り付け	8
・手順12. 内部ロックの取り付け	9
・手順13. 硝子引戸用の戸当りの取り付け	9

ハイスライドドア パーツ部材詳細

●レールセット 900、1200

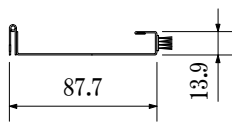
- ・アルミ上レール ×1本
900^{mm}用 L=1803^{mm}
1200^{mm}用 L=2403^{mm}



ガイド樹脂アングル付き

必要取付ビス
900^{mm}用 12本、1200^{mm}用 16本

- ・ステン HLカバー ×4本
900^{mm}用 L=900^{mm}
1200^{mm}用 L=1200^{mm}

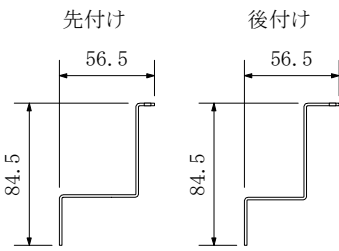


モヘア付

必要取付ビス
900^{mm}用 5本×4箇所
1200^{mm}用 7本×4箇所

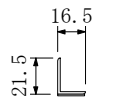
●レールセット 共通

- ・隣接FIX硝子 Bracket
L=300^{mm} ×各3本



必要取付ビス
先付け用 9本、後付け用 9本

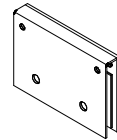
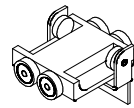
- ・下部ガイドアルミアングル
L=1500 ×1本



両面テープ付

●金具一式

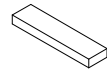
- 可動取付車 2個
- ガラスハンガー 2個
- 緩衝材 10^{mm}用, 12^{mm}用 各2個



- ストッパー 1個

- ガイドパーツ 1個

- ポイントスペーサー 7個



必要取付ビス
2本 ×1箇所

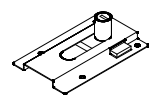
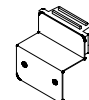
必要取付ビス
2本 ×1箇所

- 補強ブラケット 4個

- マグネ受け 6個

- 内部ロック 1個

- 戸当り 2個



必要取付ビス
2本 ×4箇所

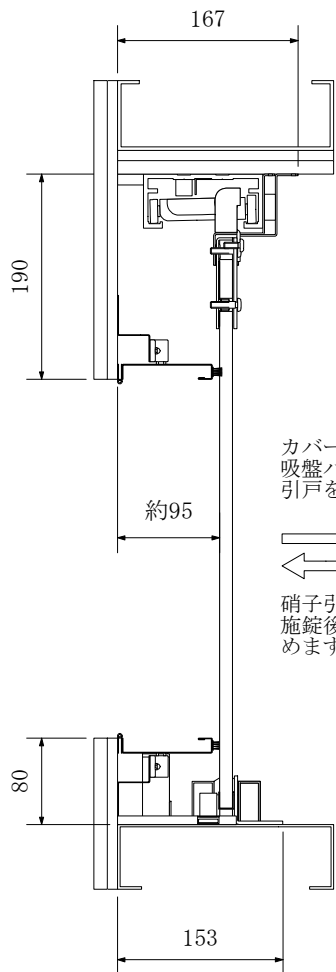
必要取付ビス
2本 ×6箇所

必要取付ビス
4本 ×1箇所

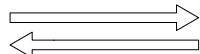
必要取付ビス
2本 ×2箇所

展示時

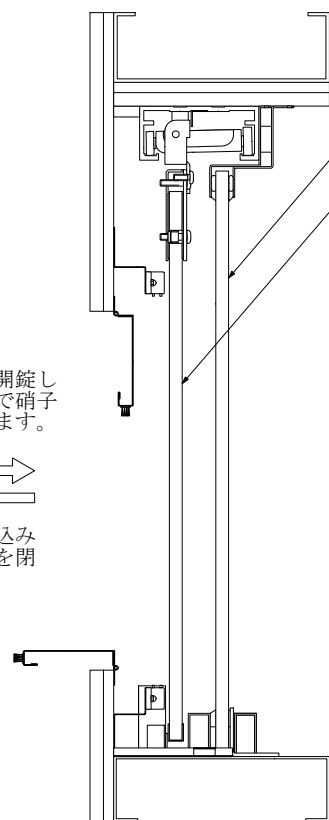
搬入時



カバーを開いて開錠し
吸盤ハンドル等で硝子
引戸を引き出します。



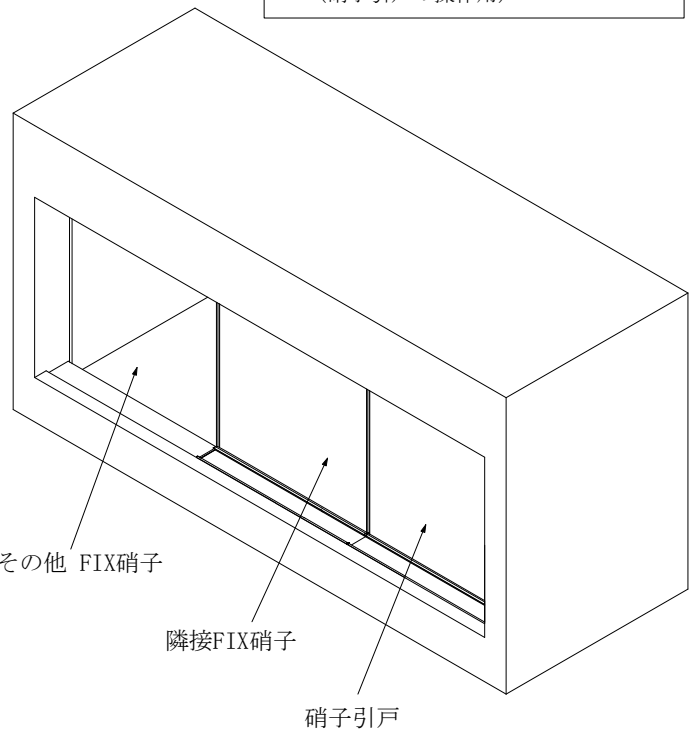
硝子引戸を押し込み
施錠後、カバーを閉
めます。



隣接FIX硝子

硝子引戸

別途ご用意頂くもの
○部材の取付ビス(下記は参考品です)
サラタッピングビス 3.5~4.0^{mm}
もしくは
サラ木ねじ 3.8^{mm}
→ビス長さは取り付ける箇所の厚み、
取り付けるパーツの大きさ等を考
慮して選ぶようにしてください。
○硝子引戸下部用のビニール透明破損止
10^{mm}もしくは12^{mm}用
○隣接FIX硝子用
角パイプ材等。バックアップ材、シリ
コン剤等の副資材
○吸盤ハンドル
(硝子引戸の操作用)



其他FIX硝子

隣接FIX硝子

硝子引戸

手順1. 硝子の寸法設定と硝子引戸のパーツのセッティング

①隣接FIX硝子について

下記寸法通り、硝子加工を行なってください。

②硝子引戸について

下記寸法通り、硝子加工を行なってください。

硝子引戸の上部はガラスハンガーをM6×2.5ナベビス各4箇所ですっかり固定してください。

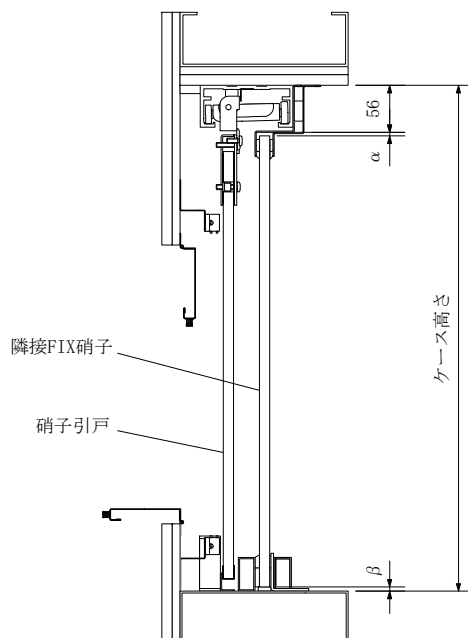
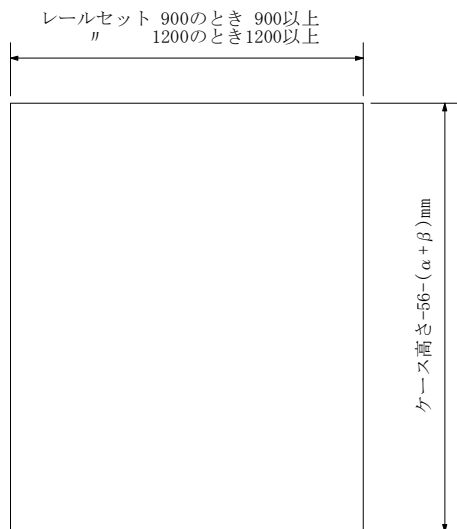
その際、パッキンは10^{mm}硝子時は前後各2枚、12^{mm}硝子時は前後各1枚で挟みこんでください。

底部にはビニール透明破損止(別売)をワイドに合わせカットし、接着剤などでしっかり固定してください。

同様に緩衝材は隣接FIX硝子と突合せになる側の上下に接着剤などでしっかり固定してください。

①隣接FIX硝子

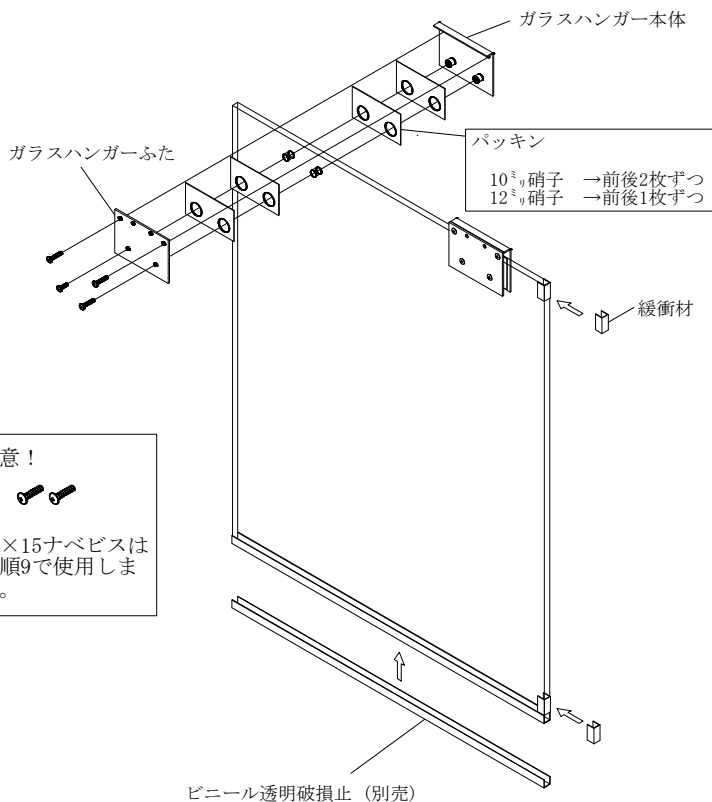
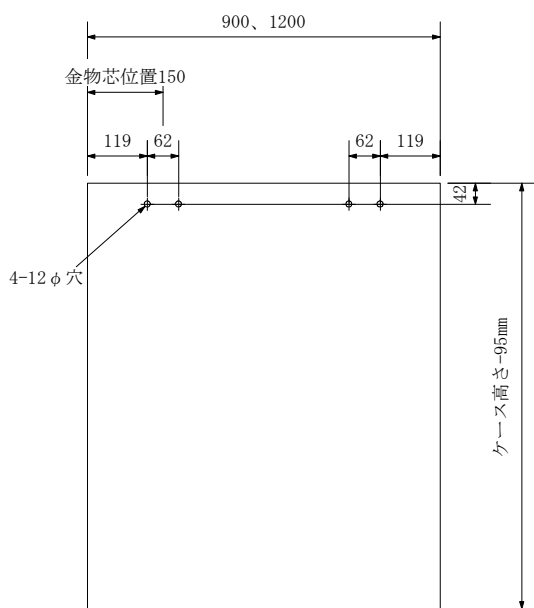
硝子厚 = 10mm もしくは 12mm



注意：α寸法として上部金物とのゆとりを、若干みてください。
β寸法として硝子底部にセットする部材の厚みを考慮してください。

②硝子引戸

硝子厚 = 10mm もしくは 12mm



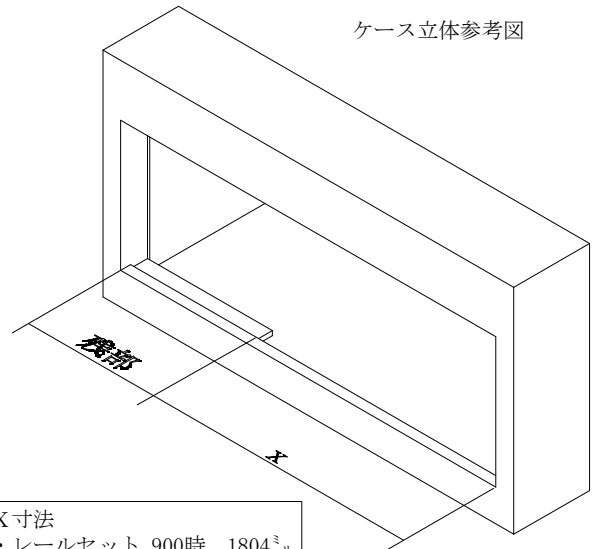
注意！



M6×15ナベビスは
手順9で使用しま
す。

手順2. ケース加工参考図 及び その他F I X硝子の設定から取り付け

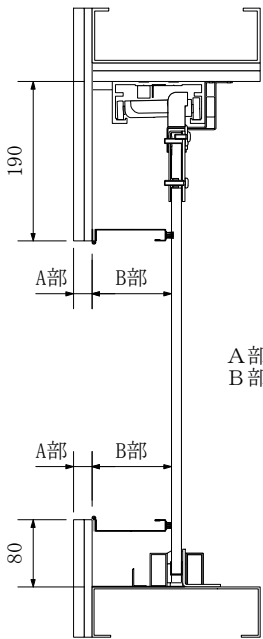
- ・ケースの寸法につきましてはケース断面参考図を参考にして隣接F I X硝子部 および 硝子引戸部の「A部」、残部にあたる「A部 + B部」の寸法を設定してください。
また、ケース立体図よりX部寸法の幅はレールセットが900の場合は1804^{mm}、1200の場合は2404^{mm}とし、残りを残部としてください。
- ・その他F I X硝子につきましては、残部の幅や、隣接F I X硝子の幅を考慮のうえ、設定してください。
また、高さは固定する部材などを考慮して設定してください。
そのうえで、その他F I X硝子はケース断面図の「A部+B部」の位置を守りながら、固定を行なってください。



X寸法	
・レールセット 900時	1804 ^{mm}
・ " 1200時	2404 ^{mm}

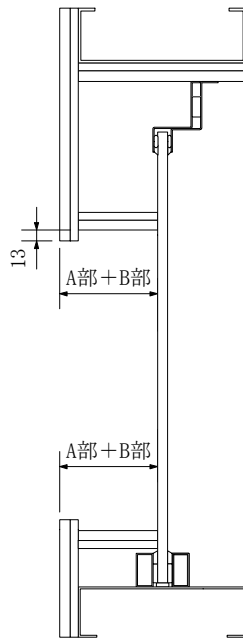
ケース断面参考図

隣接F I X硝子部 および 硝子引戸部

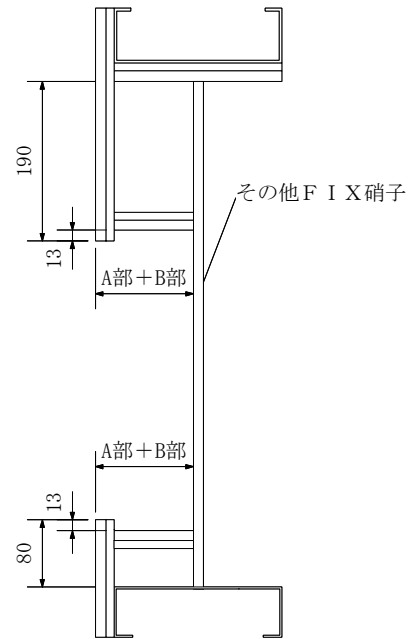


A部：立ち上がり部材の厚み
B部：10^{mm}硝子時 = 95.5^{mm}
12^{mm}硝子時 = 94.5^{mm}

「残部」内の隣接F I X硝子部 イメージ



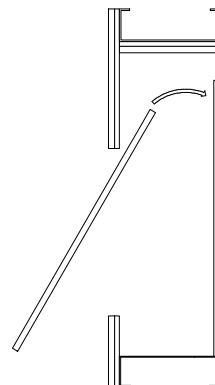
「残部」内のその他F I X硝子部 イメージ



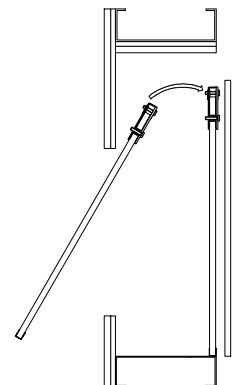
手順3. 隣接F I X硝子 及び 硝子引戸のケース内へ挿入

- ① ケース内にレール等の部材を取り付ける前にまず隣接F I X硝子を挿入してください。
- ② 同様に硝子引戸をケースに挿入してください。
それらの硝子は再度、施工に必要なまで極力施工の邪魔になりにくいところに確保しておいてください。

①隣接F I X硝子

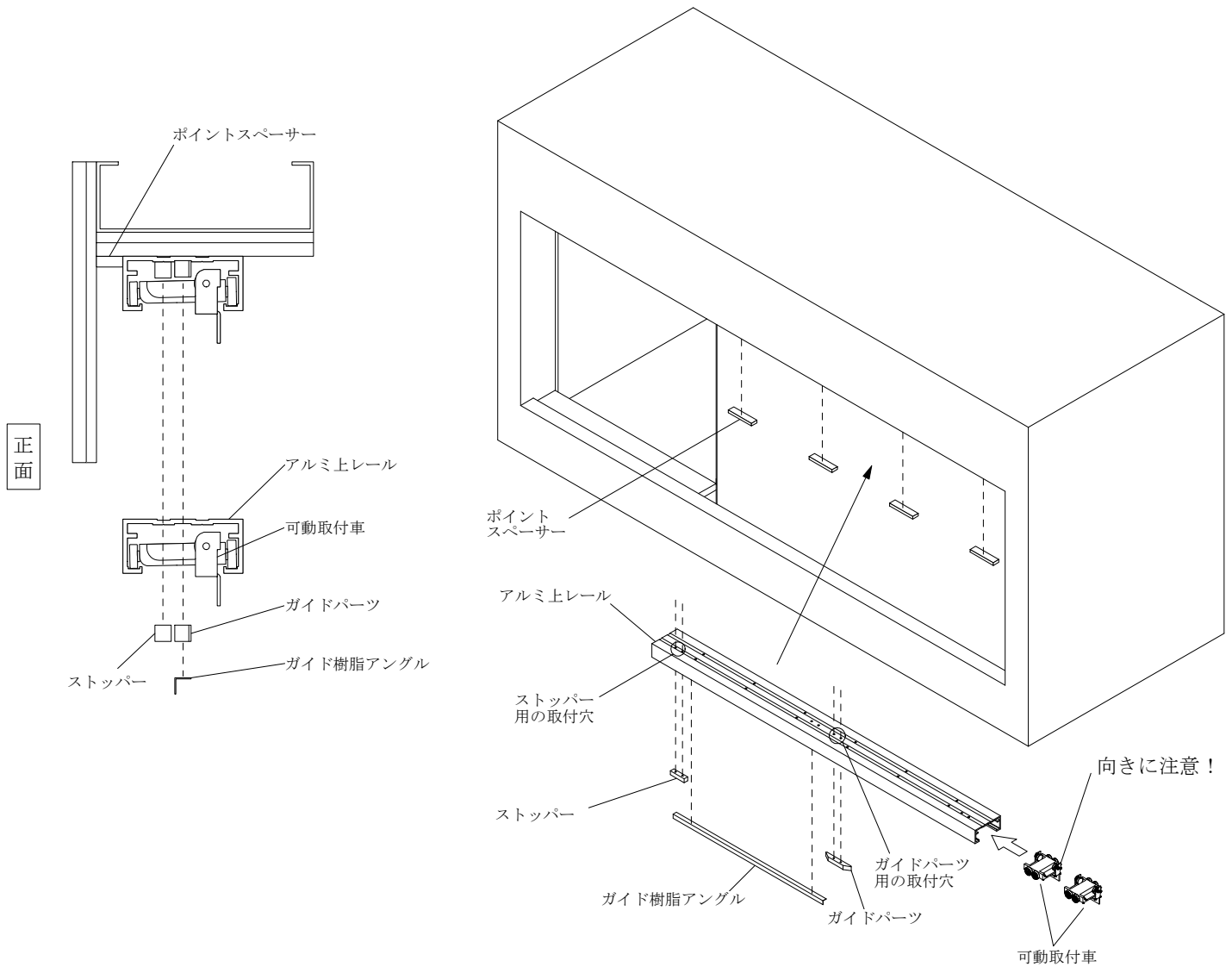


②硝子引戸

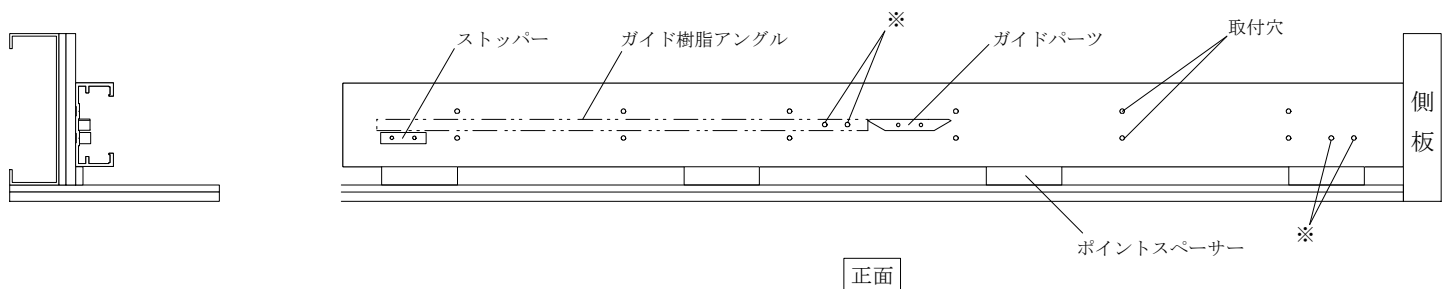


手順4. 上レール部の取り付け

- ポイントスペーサーをケース立ち上がり部の背面に「上レール部 取付パーツ詳細図」を参考に適当間隔を保ちながら4個とも付属の両面テープで貼り付けてください。
- アルミ上レールに可動取付車2車を向きに注意しながら挿入してください(下図参照：アルミ上レールはストッパー用の取付穴があるほうが正面側となります)。そのうちアルミ上レールを側板およびポイントスペーサーにあてがいがいながら、取付ビスで固定してください。(注意：レールセット900は12本、1200は16本必要です。また、ガイドパーツ用やストッパー用の穴に取りつけないように注意してください。)
- ガイドパーツおよびストッパーを「上レール部 取付パーツ詳細図」を参考に取付ビスで固定してください。同様にガイド樹脂アングルを付属の両面テープで貼り付けてください。(注意：ガイドパーツおよびガイド樹脂アングルは取付向きに注意してください。)



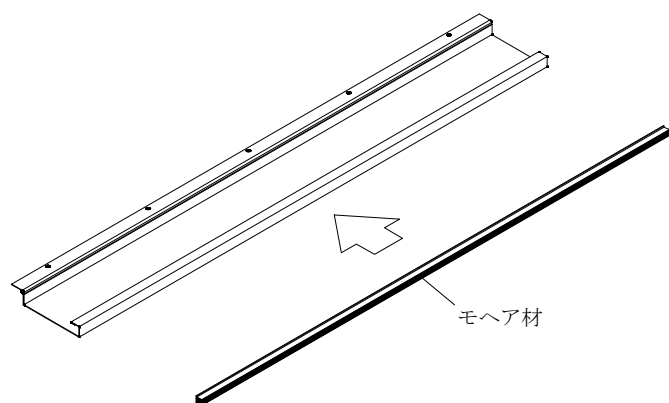
• 上レール部 取付パーツ詳細図



※この部分にはビス止めしないでください。

手順5. カバー材へのモヘア材の貼り付け

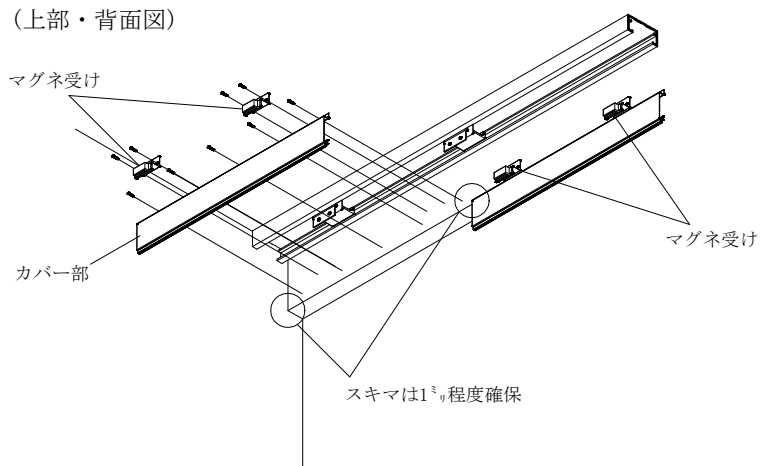
- ・モヘア材を付属の両面テープで貼り付けてください。



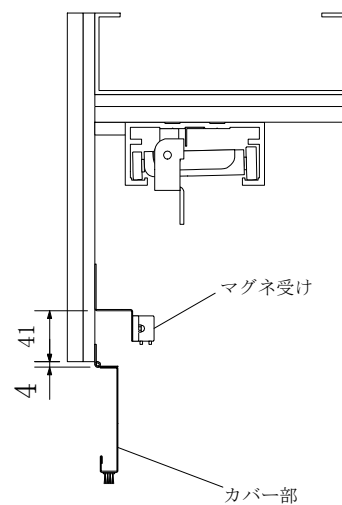
手順6. カバー部、マグネ受けの取り付け

- ・カバー部を断面図のように4^{mm}ほど枠より軸を出し、また側板とカバー部やカバー部同士のスキマを1ミリ程度ずつ確保した状態で取付ビスで固定してください。
- ・マグネ受けを断面図の取付位置に従って取り付けますが、上部のカバー部には両端に各2箇所、下部のカバー部には中央に各1箇所、取付ビスで固定してください。

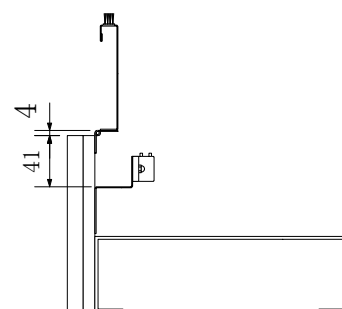
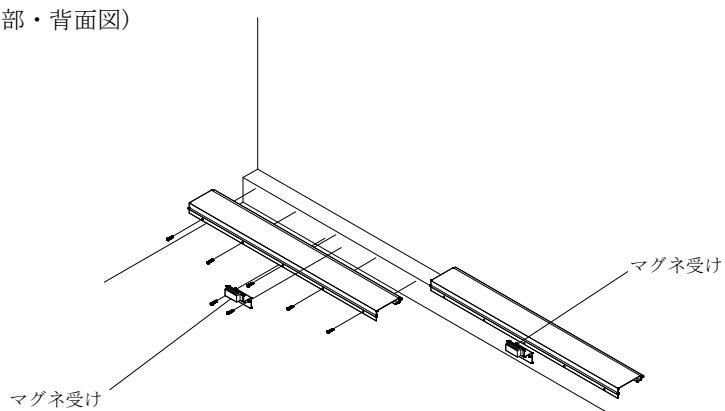
(上部・背面図)



断面図



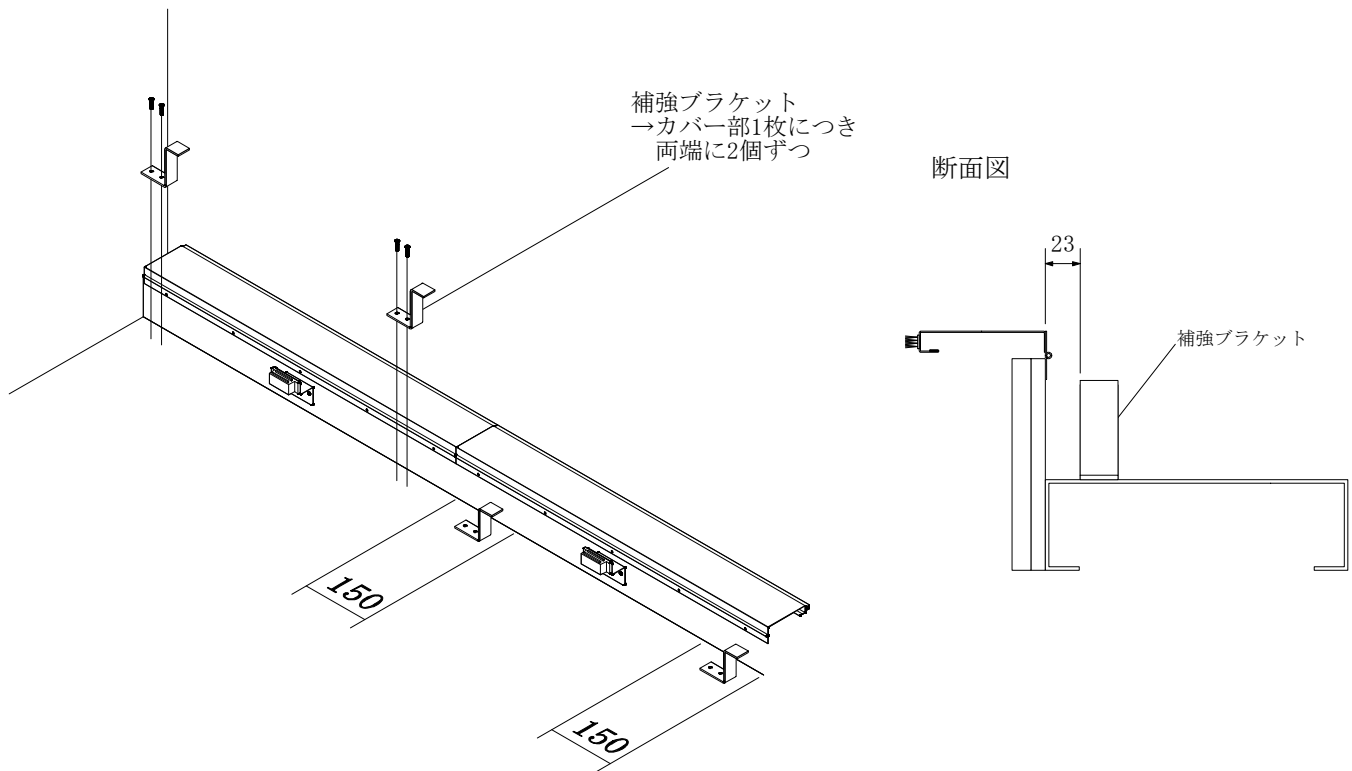
(下部・背面図)



手順7. 補強ブラケットの取り付け

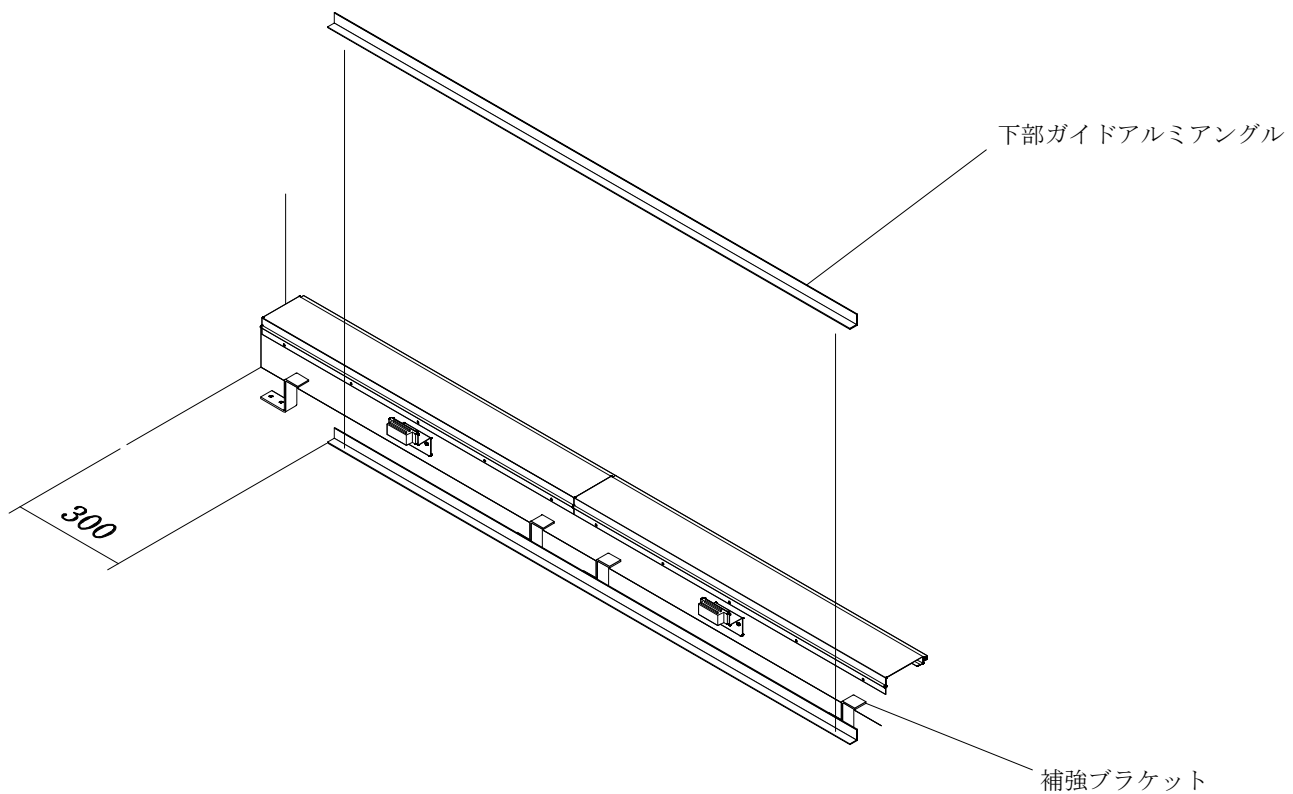
- ・補強ブラケットをケース立ち上がり部から23ミリ空けた状態で、カバー部1枚に対して両端とも端より150^{mm}以内に納まるように2個ずつ付けます。

(下部・背面図)



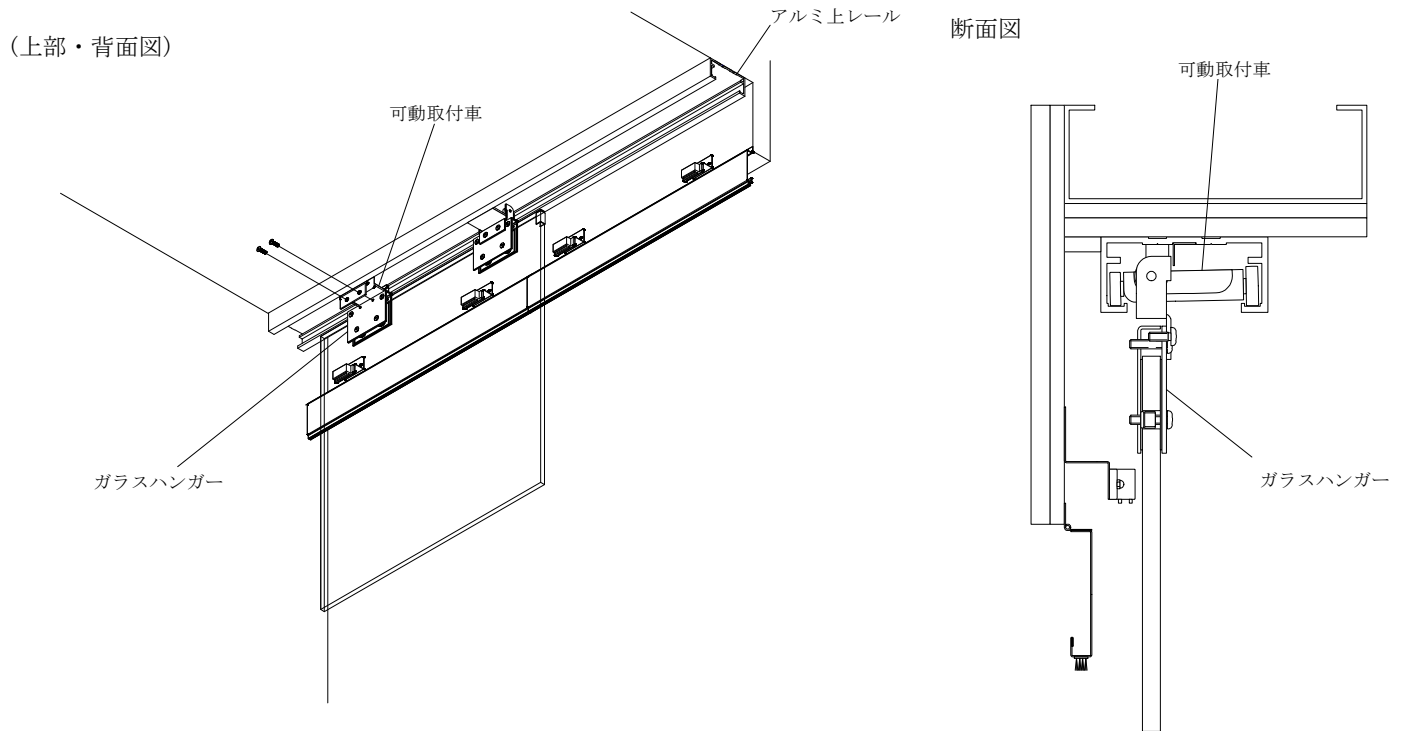
手順8. 下部ガイドアルミアングルの取り付け

- ・下部ガイドアルミアングルは補強ブラケットに沿わせながら、側板より300^{mm}程、スペースを確保した状態で、付属の両面テープで貼り付けてください。



手順9. 硝子引戸のケースへの取り付け

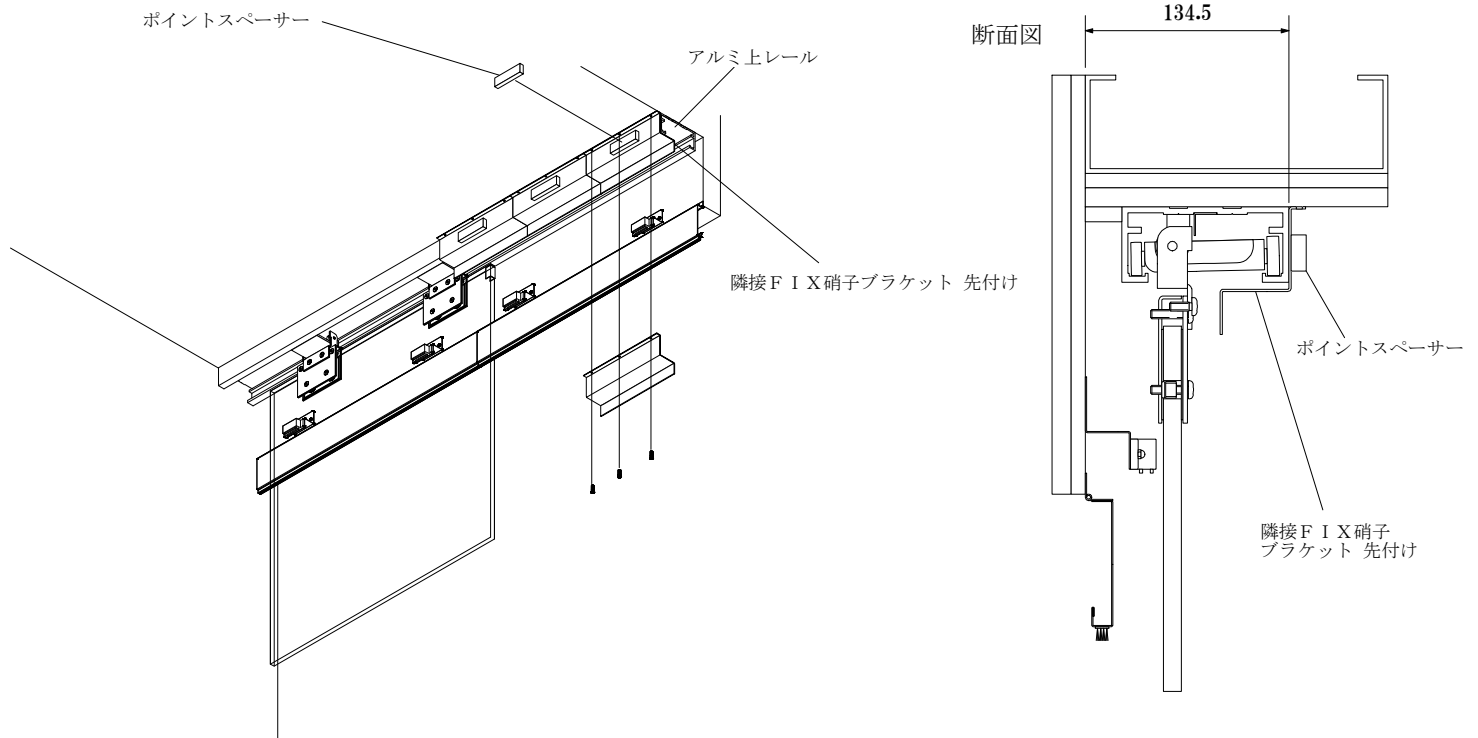
- ・「手順3」でケース内に確保した硝子引戸のガラスハンガー部材をあらかじめアルミ上レール内に通しておいた可動取付車に下図のようにM6×1.5ナベビス各2箇所ですっかり固定してください。



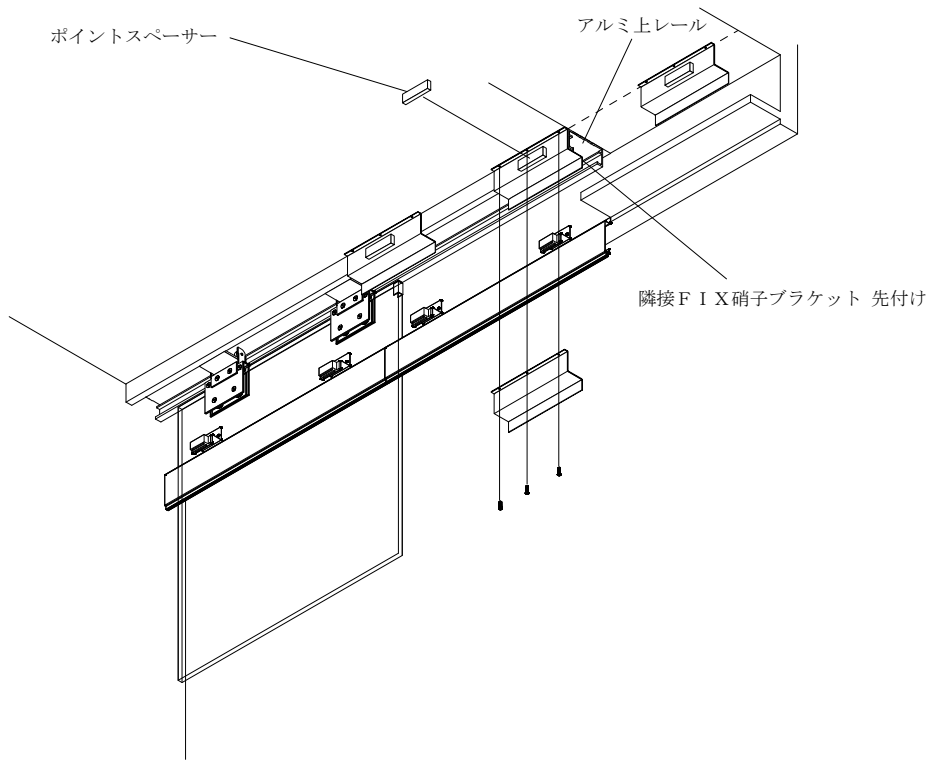
手順10. 隣接F I X硝子ブラケット 先付けの取り付け

- ・隣接F I X硝子ブラケット 先付けを取付ビスで3箇所固定してください(隣接F I X硝子の幅が2000^{mm}まで)。その際、隣接F I X硝子の両端と中央になるように取り付けますが、アルミ上レールのある箇所では、レール部、背面に沿わせながら、また、アルミ上レールのない箇所では断面図のように134.5^{mm}のスペースをとって取り付けるようにしてください。
- ・ポイントスペーサーを3個、隣接F I X硝子ブラケット 先付けの背面に図のように貼り付けてください。

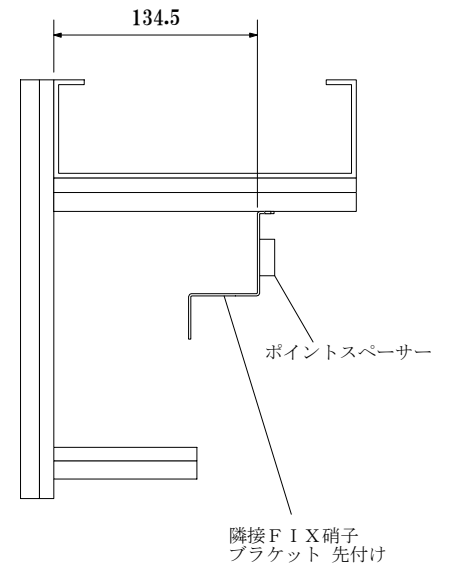
例：硝子引戸と隣接F I X硝子が同じ幅の場合



例：隣接F I X硝子が硝子引戸の幅より広い場合。(ただし、隣接F I X硝子が2000^{mm}までの場合)



断面図



手順11. 隣接F I X硝子のケースへの取り付け

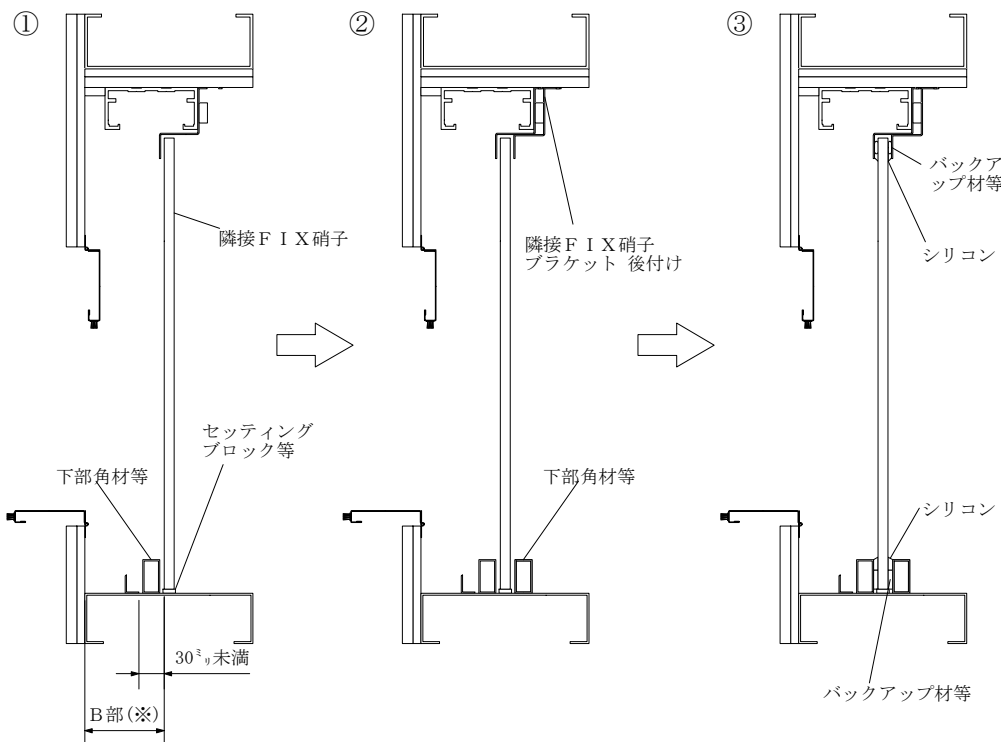
①「手順3」でケース内に確保した隣接F I X硝子を固定するために、角材(図中 シリコンスペース含め30^{mm}未満に納まるものを選んでください。)およびセッティングブロック等の底用部材をセットし、隣接F I X硝子を載せてください。
隣接F I X硝子の位置は図中のB部寸法を守ってください。

②上部は各々の隣接F I X硝子ブラケット 後付けをポイントスペーサーにあてがい、隣接F I X硝子ブラケット先付けと揃うようにして取付ビスで固定してください。下部は①と同様に角材を反対側にセットしてください。

③バックアップ材等を隣接F I X硝子前後に挿入し、シリコンでコーキングしてください。

→残部部分の隣接F I X硝子についても、極力、同様な取り付けを行なうよう工夫を行なってください。

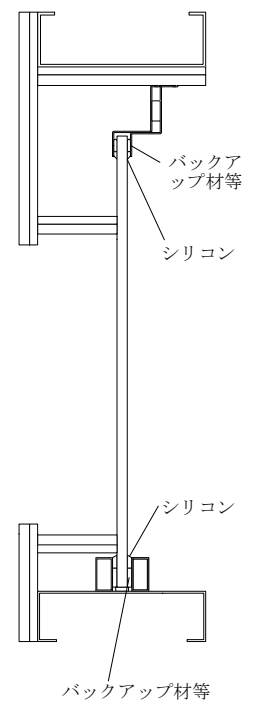
断面図



※手順2より

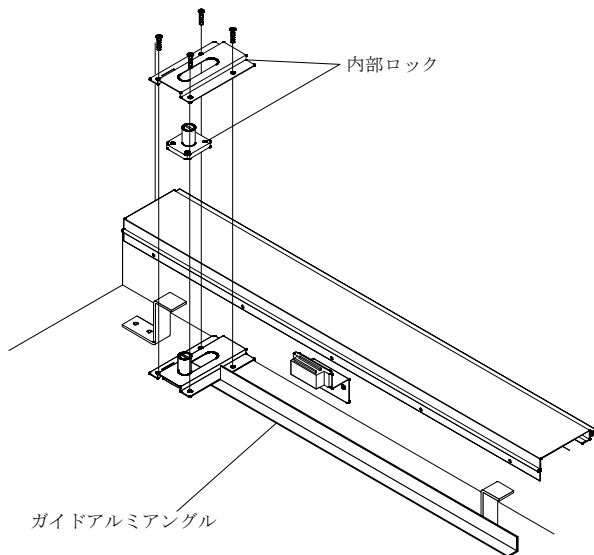
B部：10^{mm}硝子時 = 95.5^{mm}
12^{mm}硝子時 = 94.5^{mm}

図：残部部分の隣接F I X硝子

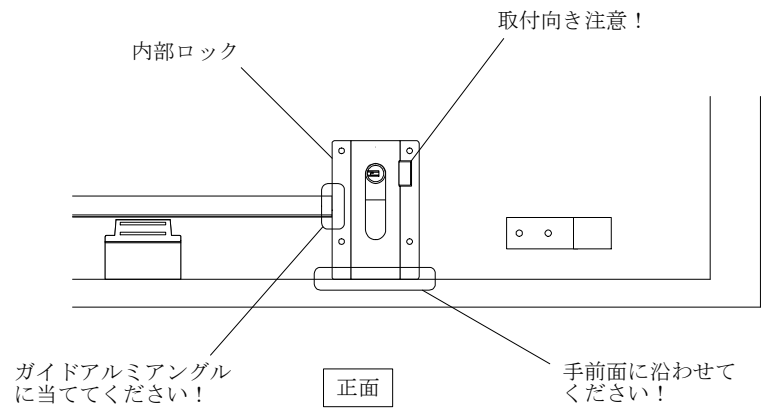


手順12. 内部ロックの取り付け

- ・内部ロックを詳細図を参考に、取付向きに注意しながら取付ビスで固定してください。

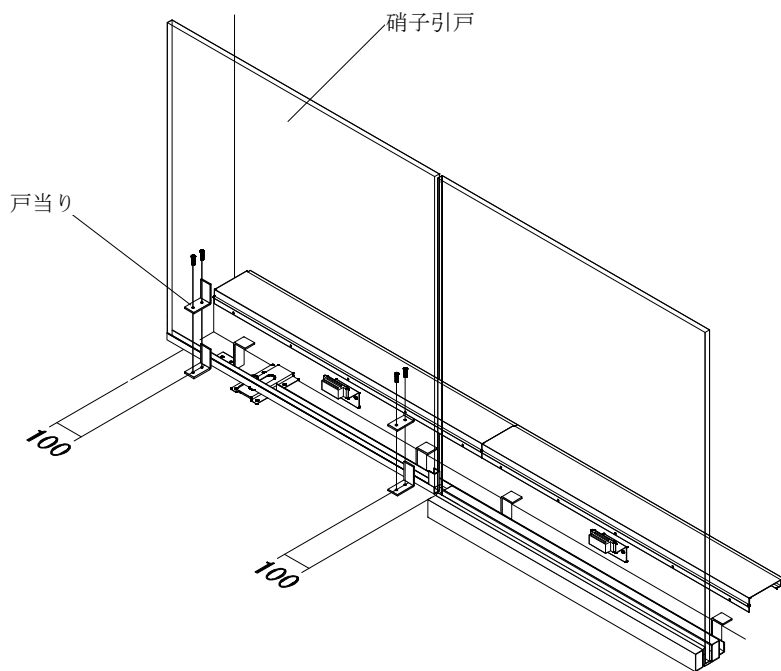


詳細図

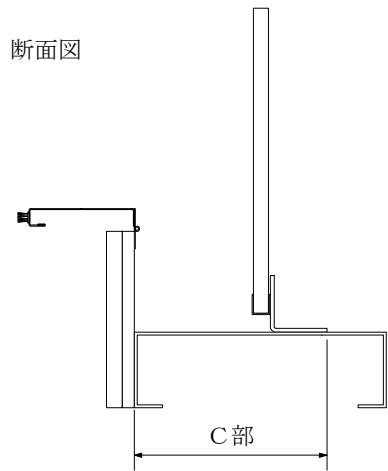


手順13. 硝子引戸用の戸当りの取り付け

- ・戸当りを断面図のC部寸法および硝子引戸の端から100^{mm}程度内側に納まる位置に取付ビスで両端とも固定してください。



断面図



C部 : 10^{mm}硝子時 = 152^{mm}
12^{mm}硝子時 = 153^{mm}

完成

